

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	[8130] (介保) 高齢者配食サービス事業	会計名称	介護保険特別会計		担当課	長寿介護課	
		予算科目	3 款 3 項 4 目	事業番号	9766	所属長名	室潤子
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福積秀子	
法令根拠等	介護保険法				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	高齢者の自立支援及び生活安定に資する。						
事業の対象	伊予市内に住所を有する見守りが必要な65歳以上の高齢者のみで構成される世帯			事業の目的	高齢者の安否確認を行うことにより高齢者の社会的孤立感を解消するとともに自立支援を図る。		
事業の内容 (整備内容)	訪問により定期的に配食弁当を提供することで、高齢者の安否を確認し、健康その他異常を確認した場合には、速やかに関係機関へ通報する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	利用件数の推移の動向を見ながら、事業について検討する。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績
直接事業費	3,549	4,320	0	0	0	3,294	登録者数	人	203	220	213	224
財源内訳												
国庫支出金	1,366	1,663	0	0	0	1,268						
県支出金	683	831	0	0	0	634						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	1,500	1,826	0	0	0	1,392	見守回数	回	15362	15000	7321	14612
一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工(にんく)数	0.20	0.20				0.20	利用延人数	人	793	750	384	773
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	5,145	5,918				4,892						
主な実施主体	シニアライフクリエイト、クロスサービス、中山梅寿会		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料(3,294千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500		
成果指標	指標	実利用者数	単位	⇒	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標	毎 年度		
			人		目標	90	90	90	90			
	指標設定の考え方	登録者のうちサービス利用者			実績	68	69					
	指標で表せない効果	高齢者の社会的孤立感の解消や栄養改善の効果										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		今年度中に来年度からの配食サービス事業者の選定を行い、事業継続を目指す。								
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	来年度の配食サービス事業者が選定することができ、事業の継続実施ができる。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	2					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	2					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげられていない。	2					
	効率性	手段の最適性	最善な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	2	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	C				
			活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	2						
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	2						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	2							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B		事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 独居高齢者や高齢者世帯の見守りを兼ねた配食サービスは、これらの高齢者の安心した生活につながる。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					
市の関与の妥当性			5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげられていない。	3						
効率性		手段の最適性	最善な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		B			
			活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3						
市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			低評価（判定）のため行政評価委員会に諮る。 弁当の配食に併せ安否を確認する本事業は、定期的な訪問による高齢者の健康、その他異常の早期発見と早期対応に有効な事業であり、継続と判断する。なお、高齢者の見守りという観点から、他のサービスと重複する面もあり、事業整理の可能性について検討する必要がある。	
			<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間でも同じサービスがある。課題認識にあるように、委託期間の満了を目途に整理する必要がある。 ・高齢者の安否確認をするというのは、なかなか骨の折れることだ。様々なルートで安否確認ができることよい。 ・高齢者の孤立を防ぐという意味で、各種施策を合わせて、きめ細やかな見守りを引き続き行ってほしい。 ・民間サービスが一般的になっているため、本事業を市の委託事業として行うことには疑問がある。 ・お弁当を持って来た配達員と会話もできることを心待ちにしている高齢者もいると思う。とても安心するのだろう。
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	コメント欄 今後の利用状況を注視し、事業整理の可能性について検討すること。
		<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
		<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
			<input type="checkbox"/>	